

食 品 ロ ス 統 計 調 査

－我が国の食品ロス統計を作成する－

1 趣旨

食品の廃棄は、生ゴミとして既に社会問題となっているのみならず、生産資源の浪費、環境負荷の増大等種々の問題を引き起こしている。また、「農政改革大綱」において、食生活の見直しに向けた運動を展開し、食べ残しや食品廃棄の削減を図ることが重要な政策課題となっている。しかしながら、具体的な施策の目標の検討や効果測定に必要な我が国の食品ロスの発生実態については、これまで十分に把握されていない状況にある。

このため、食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業及び家庭の各段階における食品の食べ残し・廃棄の実態を調査するとともに、調査結果に基づき、学識経験者による検討を踏まえ、各商品ごとに流通・購入数量に平均ロス率を乗じる等の加工分析を行って我が国の食品ロス統計を作成する。

2 調査の概要

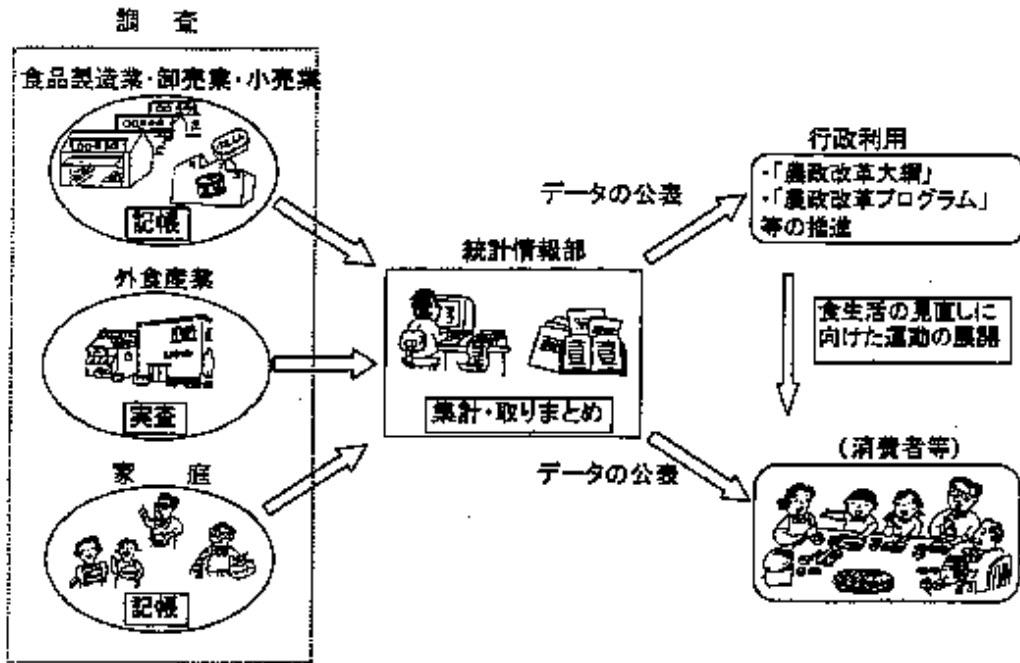
- (1) 対象地域／全国
- (2) 対象品目／把握可能なすべての食品
生鮮食品（生鮮野菜・果実、生鮮魚介類、食肉等）
加工食品（長期保存に耐えるもの及び惣菜等供用期限が短いもの）
- (3) 調査対象／食品製造業、食品卸売業、食品小売業、外食産業及び家庭
- (4) 調査事項／各部門の製造・販売・仕入・購入数量及びその廃棄数量、食べ残し量を調査し商品ごとの平均ロス率を算出
- (5) 調査周期／家庭は毎年（その他は5年ごとに調査）

3 平成12年度概算要求額

101（ 0）百万円

担当課：統計情報部流通消費統計課
価格形成統計班

— 調査の仕組み —



— 食品ロスはどうして発生するのか —

